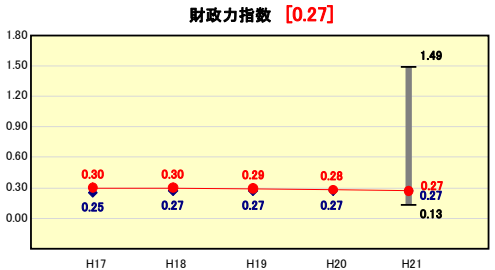


市町村財政比較分析表(平成21年度普通会計決算)

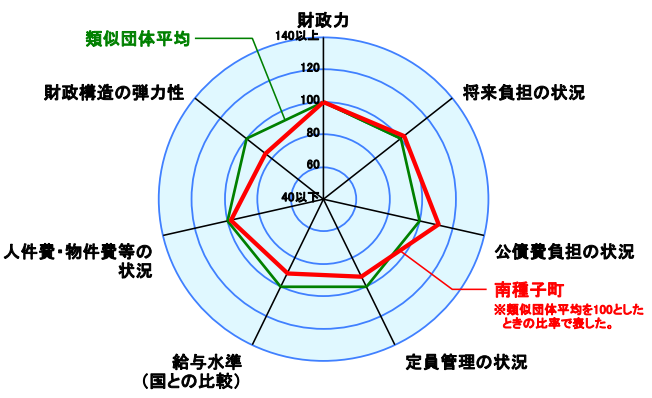
財政力



● 当該団体値
◆ 類似団体内平均値
— 類似団体内の最大値及び最小値

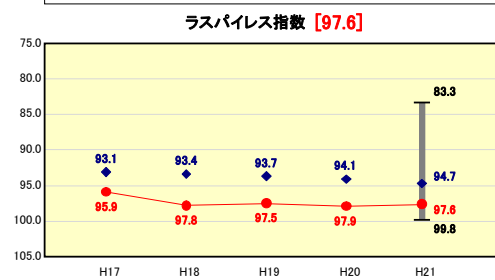
類似団体内順位 33/118
全国市町村平均 0.55
鹿児島県市町村平均 0.29

人口	6,364	人(H22.3.31現在)
面積	110.40	km ²
標準財政規模	3,095,650	千円
歳入総額	5,152,844	千円
歳出総額	5,070,558	千円
実質収支	55,514	千円



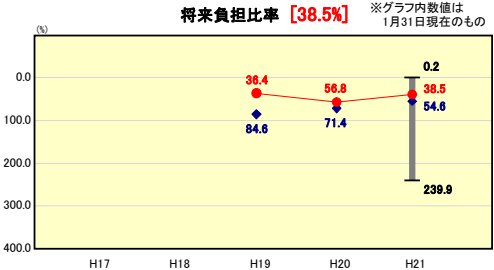
※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同グループに属する団体を言う。
※平成21年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率及び将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。
※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。
※類似団体内平均値は、充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体を含めた加重平均であるため、最小値を下回ることがある。

給与水準 (国との比較)



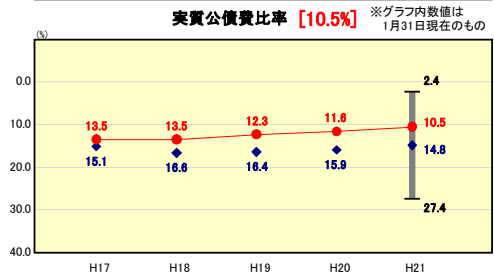
類似団体内順位 72/118
全国市町村平均 115.858
鹿児島県市町村平均 126.877

将来負担の状況



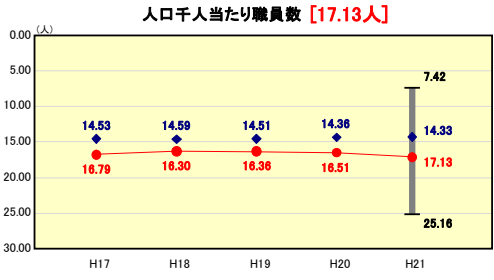
類似団体内順位 44/118
全国市町村平均 92.8
鹿児島県市町村平均 80.1

公債費負担の状況



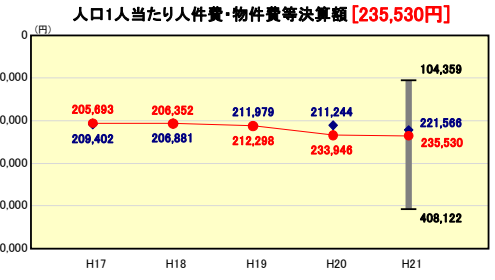
類似団体内順位 16/118
全国市町村平均 11.2
鹿児島県市町村平均 12.4

定員管理の状況



類似団体内順位 84/118
全国市町村平均 7.33
鹿児島県市町村平均 8.84

人員費・物件費等の状況



類似団体内順位 111/118
全国市町村平均 91.8
鹿児島県市町村平均 91.3

※人員費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし 人員費には事業費支弁人員費を含み、退職金は含まない。

分析欄

財政力
財政力指数において全国市町村平均を大きく下回っている。県内においては、平均的な財政力を維持しているが、自主財源が少ない本町の財政においては、依然として厳しい状況にあるため、税収の徴収率向上対策など、歳入確保に努めたい。

経常収支比率
平成16年から好転してきたが、福祉関係経費の増加などにより、平成20年度より厳しい状況が続いている。

ラスパイレス指数
類似団体内平均値を上回っている。今後も国等の施策等に注視しながら、適正な給与水準の維持に努める。

将来負担比率
平成21年度においては、38.5%と前年度に比べ小さくなっている。しかし、大型プロジェクトなどによる、普通建設事業費が増えることから、今後の財政状況に注視しながら、有利債の活用を図りながら、健全財政の維持に努める。

実質公債費比率
平成9～16年度公債費負担適正化計画を策定し、起債抑制策を講じてきた。今後も特別な事情を除き、償還金の平準化を進めながら、実質公債費比率の急激な上昇を抑える。

人口千人当たり職員数
本町は鹿児島という地理的条件や産業構造による諸施策の多様化等により、全国平均等を大きく上回っている。定員管理や行革大綱等に基づき、事務事業等の効率化に努める。

人口1人当たり人員費・物件費等決算額
人口1人当たり決算額が、全国平均及び県平均を大きく上回っている。これは、主に人員費が要因となっているが、地理的条件などによる職員数にも関係するところが大きいので、今後は、行財政改革大綱等に基づき、経費の節減等に努めることとする。